

岩川光  
quena

尾花毅  
guitar

※マスクの着用を必ずお願いいたします。  
※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2021 12月04日(土)

開場 13:00 afternoon live

開演 13:30

(2ステージ入替なし)(1drink 600円～)

予約 MC=4000円+2drinks order

当日 MC=4300円+2drinks order

CAFE BEULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、  
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を  
ご記載下さい。



## 岩川光

独自の革新的な演奏技術で「ケーナの革命者」と呼ばれるケーナ奏者。音楽の原始に近づくような音作りや、複雑でありながらダイレクトに琴線に触れる楽曲に定評のある作曲家。マルチインストゥルメント奏者。9歳よりケーナを始め、12歳より演奏活動に入る。同時期にモダン及びバロックのリコーダーを修め、10代には作曲や指揮法も学ぶ。こうした知見と技術を活かし、前人未到と評される独自のケーナ奏法を開拓、これまでの概念を覆す演奏を展開。南米・ヨーロッパを中心に音楽祭出演やツアー公演、ディノ・サルーシ、故ハイメ・トレスら世界的巨匠との共演、バロック・アンサンブル「カペラ・メディテラネア」のソリストとして参加したラジオ・フランスでの公演などを通じ、幅広い分野で国際的に高い評価を得る。録音作品も多く、その内容はバラエティに富み、国内外の専門誌で年間ベストに選出されるなど好評を博す。常に世界規模で複数のプロジェクトを展開。近年テレビや舞台の音楽録音を通じ、日本のお茶の間でもその音を耳にする機会が増えている。現代の作曲家との協働、古代楽器の演奏復元、製作家として新モデルの開発など、その活動は多岐にわたる。また南米を中心にマスタークラスの開講も多い。コロナ禍においても意欲的な制作を続け、録音作品を次々と発表。2013年よりブエノスアイレス在住。

<https://hikalucas.wixsite.com/hikaruiwakawa>



## 尾花毅

幼少期をドイツで過ごしクラシックギターのレッスンを受け始める。学生時代は自作曲を演奏する。プログレッシブハードロックバンドにて都内近郊のライブハウスで活動する日々を過ごす。あるきっかけで耳にしたブラジル音楽に衝撃を受け、再びクラシックギターを手にする。様々なブラジルの音楽から影響を受けてきたが、7弦ギターを手にしてからは特に古いサンバやショーロから多大な影響を受け現在に至る。7弦ギターの特徴を生かし幅広い音楽を通して身に着けたプレイスタイルでクラシック、JAZZ、ブラジルまで広範囲のユニットに参加する他、ブラジルから来日するミュージシャンのサポート等、数多くのライブをこなす日々を送っている。近年は自らが製作したマイクロホン販売するブランド [OBANA Microfone] を立ち上げ、音にこだわりをもつミュージシャンに愛用されている。また使用している7弦ギターは実の父親が製作した楽器である。